

独立行政法人日本貿易振興機構
2012年度 第1回契約監視委員会 議事概要

1. 日時：2012年7月18日(水) 9:30～11:00
2. 場所：日本貿易振興機構10階会議室
3. 出席委員：(50音順・敬称略)
中村信男委員長、尾花眞理子委員、鈴木実委員、出口眞也委員
(市村泰男委員は欠席)
4. 議事
 - (1) 2011年度における公益法人に対する支出の点検・見直し
 - (2) 2011年度に締結した競争性のない随意契約の点検・見直し及び2012年度における競争性のない随意契約について(意見聴取及び点検・見直し)
 - (3) 「随意契約等見直し計画」実施状況の報告
5. 議事概要
 - (1) 点検・見直しの方法および観点
該当する国内案件全てを点検・見直しの対象とするが、件数が相当数にのぼるため、予め事案リストを提示した上で、事務局が事前に抽出した案件に、客観性をより担保するために委員が別途抽出した案件があれば対象として適宜加える形で進めることとした。
 - (2) 2011年度における公益法人に対する支出の点検・見直し
事務局より、該当案件の概要を説明した。これに対する委員からの主なコメントは以下のとおり。
 - 研修案件については、各大学院が設置するMBA等他の機関やコースと比較検討した上で研修先を選定するとよい。
 - 出展申込のように契約先が特定1者に限定される案件においては、申し込むスペースの必要性等について特に客観的な説明責任が求められている。
 - (3) 2011年度に締結した競争性のない随意契約の点検・見直し及び2012年度における競争性のない随意契約について(意見聴取及び点検・見直し)
事務局より、該当案件の概要を説明した。これに対する委員からの主なコメントは以下のとおり。
 - 建物賃貸借案件については、更新時に契約金額が適正な価格であるかを改めて精査すること。

○ 資料調達案件については、利用率が低い資料に係る見直しを継続すべき。

(4) 「随意契約等見直し計画」実施状況の報告

○ 当該計画担当者より、概要・状況等詳細の説明を行った。

注) 公認会計士の委員については、所属する監査法人の業務提供先が契約相手方となる案件の審議には参加していない。

以上